



地域元気指数

全国「地域元気指数調査2024」【全体結果編】

**地域元気指数は前年と同程度
幸せ指数は調査開始以来最低値****地域の元気度は前年の過去最高値を維持しつつも、
「地域の住みやすさ」を支える行政サービス、地域の固有性、
コミュニティに対する評価は年々低下している**

株式会社アール・ピー・アイ(所在地:千代田区 代表取締役会長:長澤博英)は、**住民自身が地域の元気度、幸せ度を評価する全国『地域元気指数調査』**を2016年より毎年実施しています。

今年で第9回目となる「地域元気指数調査」は、全国20～69歳の男女を対象に、現在自分が暮らす地域がどのくらい元気か、自分がどのくらい幸せかをそれぞれ1～10点で評価してもらい、その平均値を自治体ごとに算出しています。2024年の主な調査結果は以下の通りです。

1.地域元気指数・幸せ指数の推移(→P2)

○全国の地域元気指数は前年まで3年連続で上昇していた反動か、2024年は5.70で前年の5.75と同程度となりました。幸せ指数は6.02で前年に比べ0.08減少し、調査開始以来の最低値となりました。

2.性年代別の地域元気指数・幸せ指数の推移(→P3)

○地域元気指数は全体では低下したものの、20-30代女性、60代女性、20代男性においては評価が比較的高くなっています。一方で幸せ指数は全体的に低下しており、特に20代・60代女性が大きく低下しています。

3.地域元気指数ランキング ベスト20(→P4)

○都道府県別の地域元気指数は、例年上位の沖縄県、東京都、神奈川県、大阪府、福岡県などの大都市圏が低下した一方で、長崎県、青森県、広島県、宮城県などの地方が高くなり、その順位も上がりました。

○都道府県別のランキングでは、1位沖縄県6.28(前年1位6.31)、2位東京都6.06(前年2位6.08)は前年から不動、以下、神奈川県5.96、大阪府5.92、愛知県5.89、福岡県5.88の順でした。

4.幸せ指数ランキング ベスト20(→P5)

○都道府県別の幸せ指数は、全体的に下がっている中、広島県は最も上昇し、6.27で2位となりました。沖縄県は前年とほぼ変わらず、6.32で1位となりました。

○都道府県別の幸せ指数ランキングでは、1位沖縄県6.32(前年3位6.33)、2位広島県6.27(前年25位6.03)、3位宮崎県6.26(前年1位6.43)以下、奈良県6.25、大分県6.19、愛知県6.16の順でした。

5.地域元気の評価50要素(→P6)

○住んでいる地域に対する評価は、「外国人旅行者が増加」のみ1ポイント以上高まりましたが、「誇りや愛着、賑わい、住みやすさ、経済、コミュニティ」の各領域すべてにおいて評価が低下しています。

6.地域元気の評価 長期時系列(→P7)

○地域元気の評価を経年でみると、「地域の住みやすさ」に関わる行政サービス、地域の固有性、コミュニティの項目の評価が5ポイント以上低下しており、地域の住みやすさを支える要素・機能の低下が懸念されます。

●全国「地域元気指数調査2024」に関するお問い合わせ

株式会社アール・ピー・アイ 東京都千代田区神田神保町2-38 いちご九段ビル3階
E-mail:genki@rpi.co.jp 電話:03-5212-3411

地域を元気にしたい。

RPI Regional
Planning
Institute

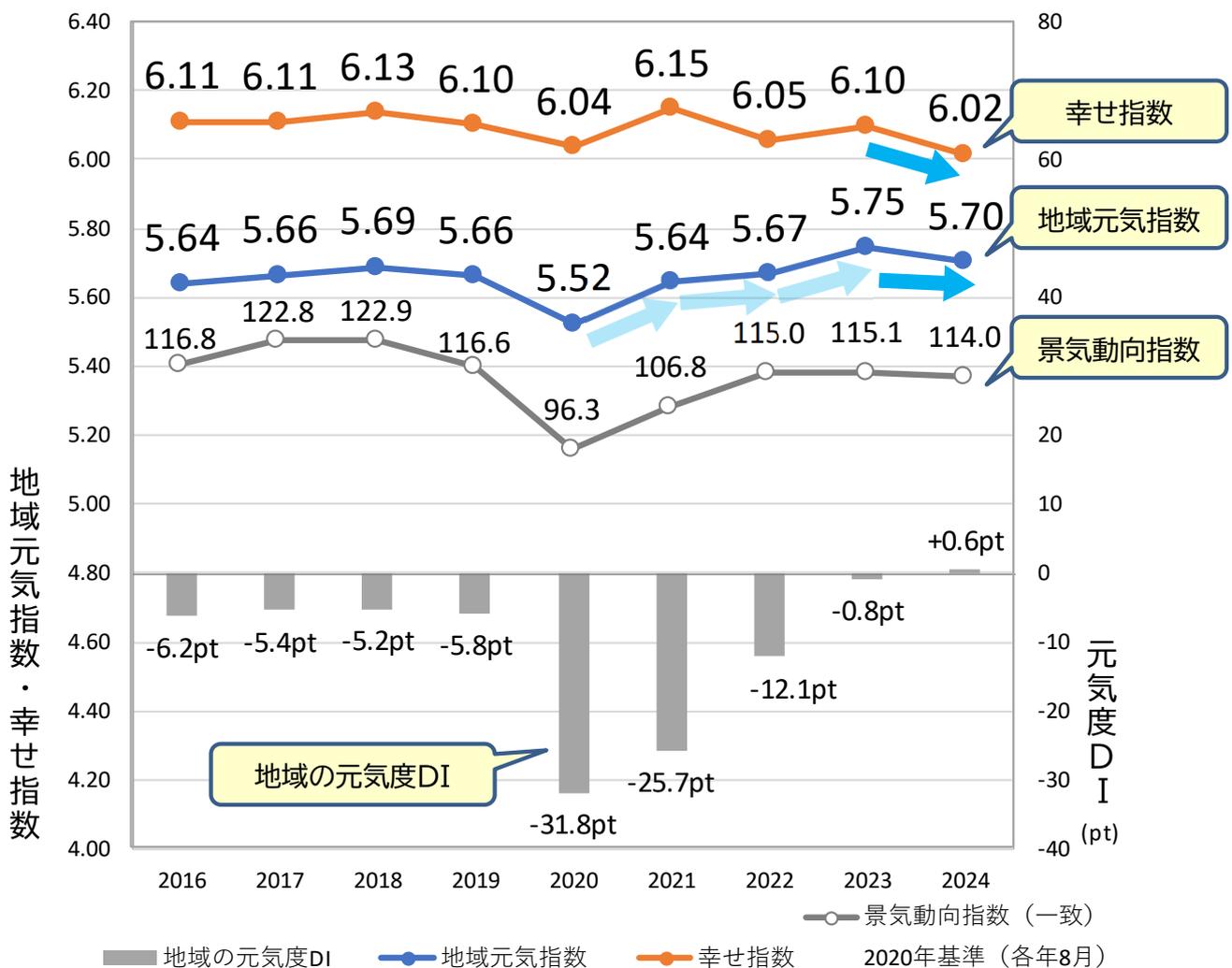
1. 地域元気指数・幸せ指数の推移

**地域元気指数は前年とほぼ同様、幸せ指数は調査開始以来最低値
幸福度は社会経済情勢の変化からくる不安感を色濃く反映**

地域元気指数は、コロナ禍の2020年に5.52まで下がり、以降3年連続で上昇、2023年には5.75と過去最高値となりましたが、2024年は5.70と前年(5.75)とほぼ同様の結果となりました。

一方、幸せ指数は前年に比べ0.08減少の6.02となり、調査開始以来の最低値となりました。アフターコロナの新時代を迎えた中で、社会情勢の不安定化、物価高、能登半島地震の発生、南海トラフ巨大地震の注意発令など、激動する社会経済情勢の変化からくる不安感を色濃く映し出す結果となりました。

■地域元気指数・幸せ指数の推移



※DI(デフュージョン・インデックス):対前年からの変化の方向性を示す指数
「増えた」の回答割合-「減った」の回答割合で算出

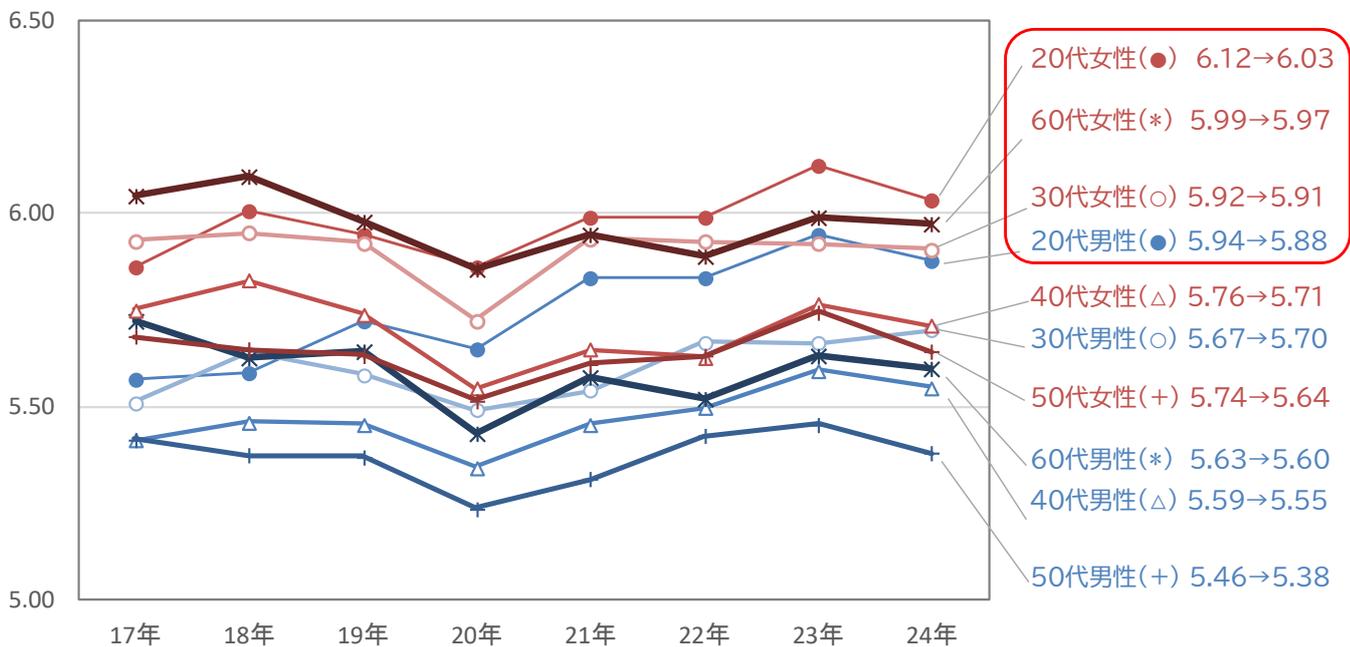
2. 性年代別の地域元気指数・幸せ指数の推移

20-30代女性、60代女性、20代男性の評価が地域元気指数を押し上げている一方、20代・60代女性の幸せ指数は大きく減少、社会の不安感を強く反映

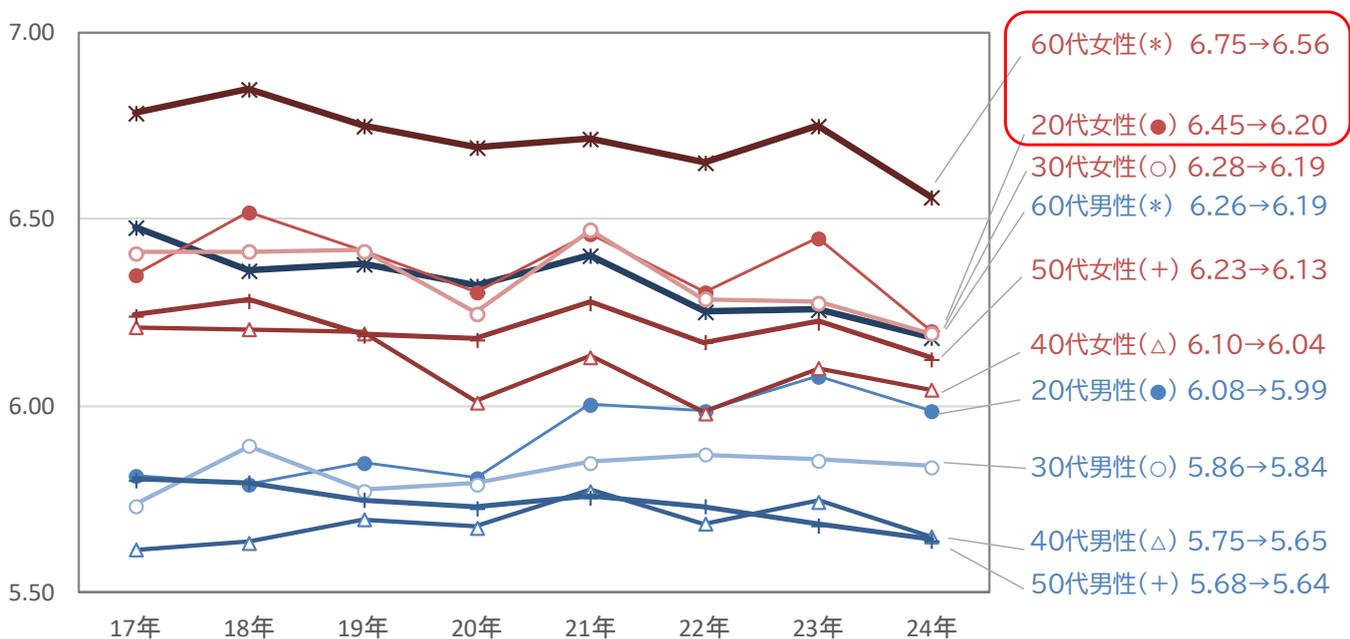
地域元気指数は全体では低下したものの、20-30代女性、60代女性、20代男性においては評価が比較的高くなっています。

一方で幸せ指数は全体的に低下しており、特に前年高かった60代女性と20代女性の低下が大きく、コロナ禍明けの反動や物価高、社会情勢の不安感を最も感じているようです。

■性年代別地域元気指数



■性年代別幸せ指数



3. 地域元気指数ランキング ベスト20

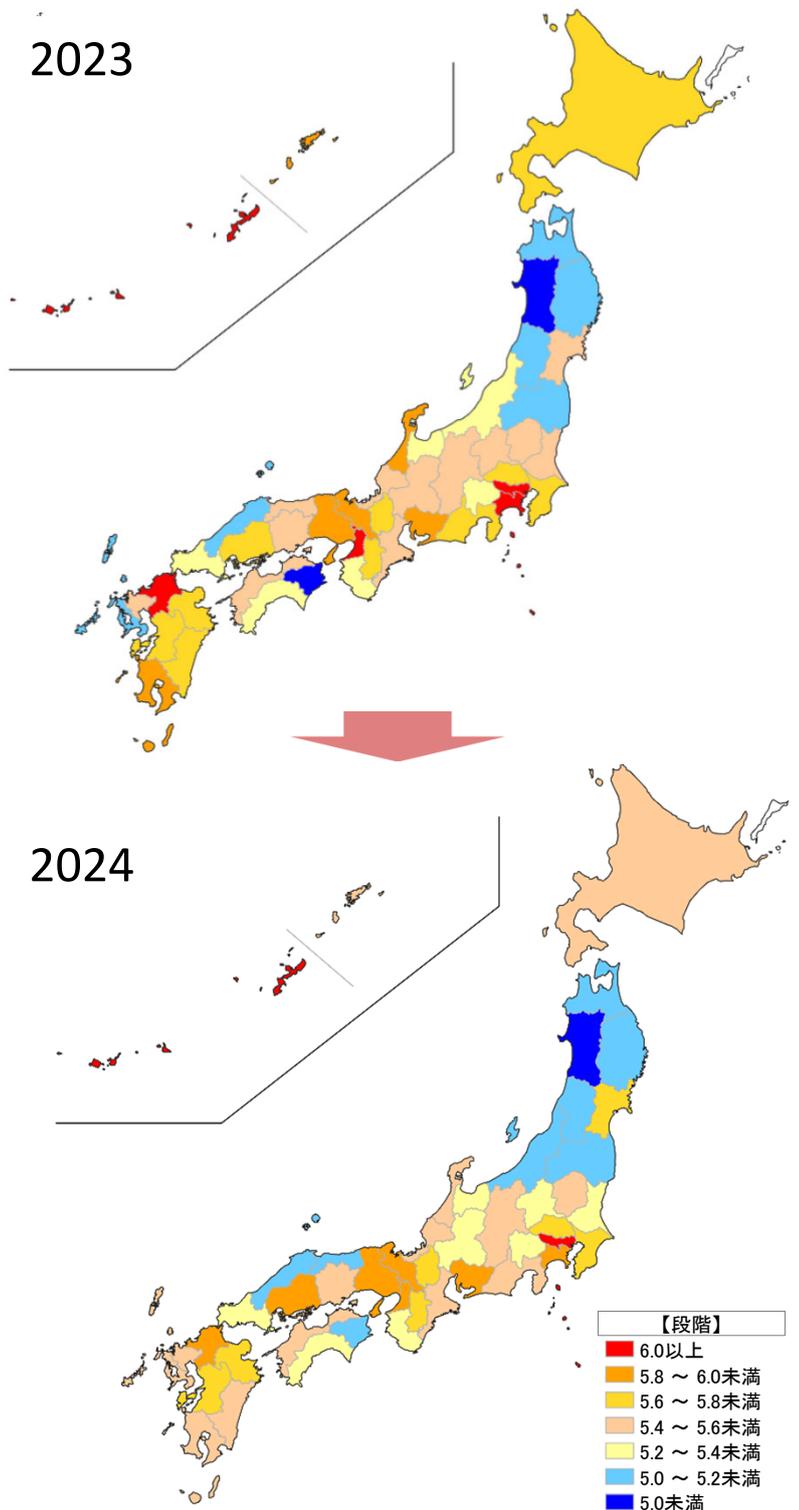
地域元気指数 1位 沖縄県・2位 東京都は不動だが、上位県の元気指数は低下
長崎県、広島県、宮城県では、外国人旅行者増により元気度がアップ

都道府県別に地域元気指数をみると、例年上位の沖縄県、東京都、神奈川県、大阪府、福岡県などで地域元気指数が下がりました。また、2024年1月に震災に見舞われた石川県では、2段階ダウン(5.92→5.59)と減少が目立ちました。地域元気指数が上昇したのは長崎県が2段階アップ(5.13→5.40)、広島県と宮城県が1段階アップしました。長崎県・広島県・宮城県では、特に外国人旅行者の増加に対する評価がアップ、青森県では新しい店の増加に対する評価が上がりました。

■地域元気指数ランキング ベスト20

順位	都道府県名	地域元気指数	地域元気指数	
			2024年	2023年
1位 ← (1位)	沖縄県	n=1,325	6.28	6.31
2位 ← (2位)	東京都	n=4,983	6.06	6.08
3位 ↗ (4位)	神奈川県	n=3,257	5.96	6.03
4位 ← (4位)	大阪府	n=6,181	5.92	6.03
5位 ↗ (9位)	愛知県	n=7,016	5.89	5.89
6位 ↗ (3位)	福岡県	n=3,994	5.88	6.07
7位 ↗ (12位)	広島県	n=1,853	5.87	5.75
7位 ↗ (6位)	兵庫県	n=3,790	5.87	5.93
9位 ↗ (8位)	京都府	n=1,951	5.82	5.90
10位 ↗ (17位)	滋賀県	n=1,876	5.75	5.67
10位 ↗ (11位)	熊本県	n=1,209	5.75	5.77
12位 ↗ (14位)	千葉県	n=4,666	5.69	5.72
13位 ↗ (20位)	奈良県	n=2,067	5.68	5.60
14位 ← (14位)	埼玉県	n=6,971	5.66	5.72
15位 ↗ (18位)	大分県	n=998	5.63	5.66
16位 ↗ (26位)	宮城県	n=2,061	5.61	5.50
17位 ↗ (7位)	石川県	n=1,188	5.59	5.92
17位 ↗ (10位)	鹿児島県	n=1,174	5.59	5.82
19位 ↗ (21位)	長野県	n=2,158	5.57	5.56
20位 ↗ (25位)	岡山県	n=1,329	5.56	5.54
全国平均		n=100,000	5.70	5.75

■都道府県別 地域元気指数分布図



■地域元気指数増減 ベスト10

順位	都道府県名	地域元気指数	地域元気指数	
			2024年	2023年
1位 30位	長崎県	n=995	0.27	5.40 5.13
2位 40位	青森県	n=1,315	0.15	5.18 5.03
3位 7位	広島県	n=1,853	0.12	5.87 5.75
4位 16位	宮城県	n=2,061	0.11	5.61 5.50
5位 33位	高知県	n=491	0.09	5.36 5.27
6位 47位	秋田県	n=968	0.08	4.72 4.64
6位 10位	滋賀県	n=1,876	0.08	5.75 5.67
6位 13位	奈良県	n=2,067	0.08	5.68 5.60
9位 44位	徳島県	n=954	0.05	5.04 4.99
10位 20位	岡山県	n=1,329	0.02	5.56 5.54
全国平均		n=100,000	-0.05	5.70 5.75

4. 幸せ指数ランキング ベスト20

幸せ指数は沖縄県が1位に返り咲き。2位 広島県、3位 宮崎県 東北・日本海側で広がる幸せ指数の低下

都道府県別の幸せ指数は、全体的に下がっている中、広島県は最も上昇し、6.27で2位となりました。沖縄県は前年とほぼ変わらず、6.32で1位となりました。

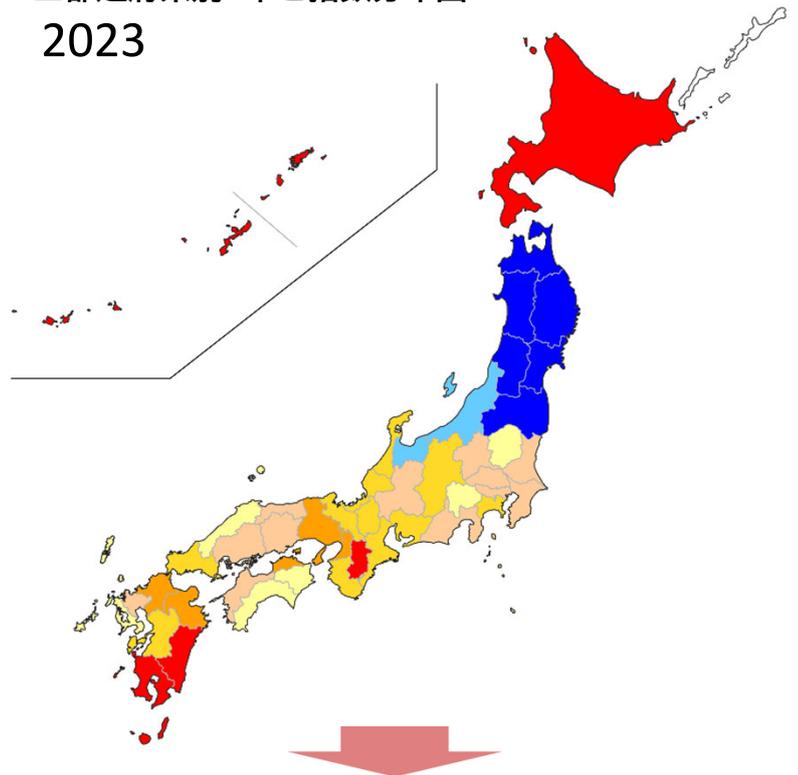
広島県は幸せ指数の増加幅が1位で、外国人旅行者の増加のほか、広島サッカースタジアム建設の影響などもあり、「地域のことが話題になっている」「地域に楽しめる場所がある」「地域の祭りやイベントが盛ん」などで評価がアップしており、県民の幸せ感につながっています。

■幸せ指数ランキング ベスト20

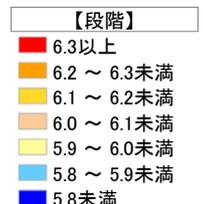
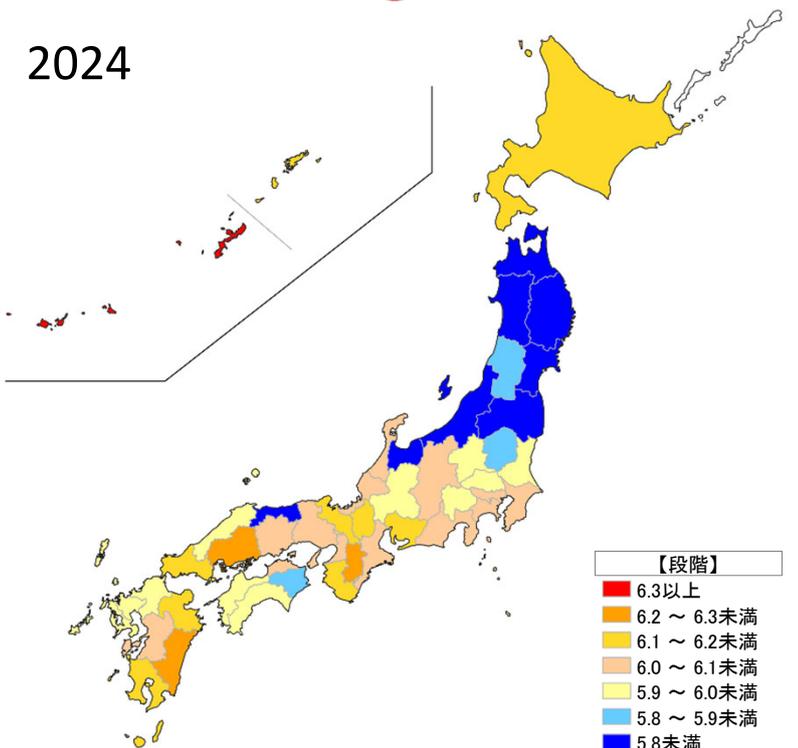
順位	都道府県名	サンプル数	幸せ指数	
			2024年	2023年
1位 ↔ (3位)	沖縄県	n=1,325	6.32 ↗	6.33
2位 ↔ (25位)	広島県	n=1,853	6.27 ↖	6.03
3位 ↘ (1位)	宮崎県	n=779	6.26 ↘	6.43
4位 ← (4位)	奈良県	n=2,067	6.25 ↘	6.32
5位 ↖ (7位)	大分県	n=998	6.19 ↘	6.23
6位 ↖ (11位)	愛知県	n=7,016	6.16 ↘	6.19
6位 ↘ (2位)	鹿児島県	n=1,174	6.16 ↘	6.37
8位 ↖ (15位)	山口県	n=1,425	6.14 ↘	6.17
8位 ↖ (18位)	和歌山県	n=1,133	6.14 ↘	6.16
8位 ↖ (13位)	滋賀県	n=1,876	6.14 ↘	6.18
11位 ↘ (5位)	北海道	n=4,698	6.12 ↘	6.30
12位 ↖ (15位)	京都府	n=1,951	6.10 ↘	6.17
13位 ↖ (20位)	福井県	n=815	6.07 ↘	6.11
13位 ↘ (9位)	兵庫県	n=3,790	6.07 ↘	6.22
15位 ↖ (22位)	東京都	n=4,983	6.06 ↘	6.09
15位 ↘ (7位)	香川県	n=1,042	6.06 ↘	6.23
15位 ← (15位)	三重県	n=1,837	6.06 ↘	6.17
18位 ↘ (13位)	石川県	n=1,188	6.05 ↘	6.18
18位 ↘ (9位)	大阪府	n=6,181	6.05 ↘	6.22
20位 ↘ (19位)	長野県	n=2,158	6.04 ↘	6.12
全国平均		n=100,000	6.02 ↘	6.10

■都道府県別 幸せ指数分布図

2023



2024



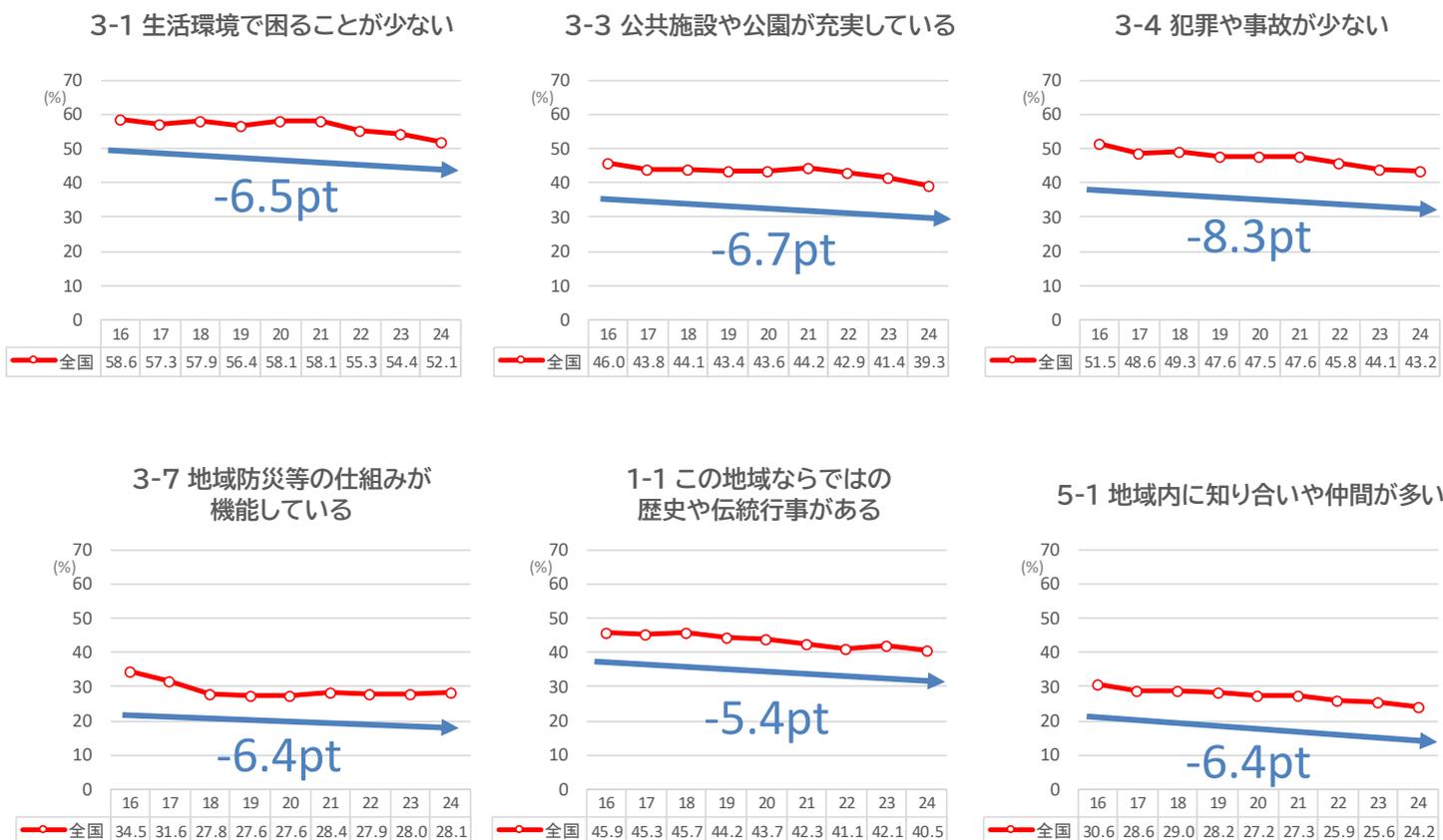
■幸せ指数増減 ベスト10

順位	都道府県名	サンプル数	増減	幸せ指数		
				2024年	2023年	
1位	2位	広島県	n=1,853 ↖	0.24	6.27	6.03
2位	43位	秋田県	n=968 ↖	0.09	5.69	5.60
3位	42位	宮城県	n=2,061 ↖	0.05	5.73	5.68
3位	38位	山形県	n=1,225 ↖	0.05	5.81	5.76
5位	29位	高知県	n=491 ↖	0.03	5.94	5.91
6位	23位	千葉県	n=4,666 ←	0.00	6.00	6.00
7位	41位	青森県	n=1,315 ↘	-0.01	5.77	5.78
7位	32位	島根県	n=657 ↘	-0.01	5.93	5.94
7位	1位	沖縄県	n=1,325 ↘	-0.01	6.32	6.33
10位	36位	山梨県	n=888 ↘	-0.02	5.92	5.94
全国平均		n=100,000	↘	-0.08	6.02	6.10

経年でみると「地域の住みやすさ」を支える、行政サービス、地域の固有性、コミュニティに関わる項目が年々低下

2024年の結果と、調査開始時点の2016年の結果を比べると、「生活環境で困ることが少ない」「公共施設や公園が充実している」「犯罪や事故が少ない」「地域防災等の仕組みが機能している」「この地域ならではの歴史や伝統行事がある」「地域内に知り合いや仲間が多い」などの項目で、8年間に5～9ポイント評価が低下しています。

■長期時系列 変化のある項目（「当てはまる」「やや当てはまる」の合計）



■長期時系列<項目は一部抜粋>（「当てはまる」「やや当てはまる」の合計）

誇りや愛着		賑わい		住みやすさ				経済活発度・安定度				コミュニティの充実度																										
地域固有の歴史や伝統行事がある	地域固有の生活文化がある	自然が豊かな土地である	大切に守り続けた地域資源がある	自慢したい地域のモノ・コトがある	新しいものを受け入れる風土がある	地域の商店（街）に活気がある	地域に楽しめる場所がある	音楽や文化・芸術活動が盛ん	地域内で若い人の姿を多く見かける	移住者が増えている	国内の観光客・旅行者が増えている	外国人観光客・旅行者が増えている	生活環境で困ることが少ない	買い物しやすい	公共施設や公園が充実している	犯罪や事故が少ない	街がきれい	交通利便性が高い	地域防災等の仕組みが機能している	子育て環境や教育環境が整っている	病院・医療体制が整っている	行政サービスが充実している	地元で買い物をする人が多い	地域内に働く場が多い	地域内に基幹的な産業がある	多種多様な産業がある	地域を代表する特産品がある	新しい住宅やマンションが増えた	再開発などで街が変わった	地域内に知り合いや仲間が多い	地域の祭りやイベントが盛ん	新しいイベントや祭りが復活*	地域一体となった取り組みがある	住民・コミュニティ活動団体が多い	域のため頑張っている人が多い	子どもが多い	高齢者がいきいきしている	
24年-16年 (pt)	-5.4	-2.7	-4.8	-1.9	-2.0	-1.9	0.5	-0.9	-1.3	-3.1	-3.1	2.8	3.2	-6.5	-4.4	-6.7	-8.3	-5.5	-0.7	-6.4	-4.0	-5.8	-3.4	-4.4	1.1	0.7	1.1	-1.6	-4.0	-0.6	-6.4	-3.7	3.8	-3.1	-1.6	-4.2	-0.8	-1.7

16年調査より1pt以上増加 16年調査より3pt以上減少 ** 17年調査との差 *** 18年調査との差 *調査票では「新しいイベントができた・地域の祭りが復活した」

■元気指数 市ランキング

順位 前年順位	市名 サンプル数	地域元気指数		市規模
		2024年	2023年	
1位 ↘ (5位)	宮城県富谷市 n=136	7.18 ↘	6.82	5万人以上の市
2位 ↗ (1位)	愛知県長久手市 n=147	6.98 ↗	7.11	5万人以上の市
3位 ↘ (21位)	熊本県合志市 n=76	6.96 ↘	6.44	5万人以上の市
4位 ↗ (3位)	東京都武蔵野市 n=170	6.82 ↗	6.96	10万人以上の市
5位 ↘ (10位)	千葉県流山市 n=209	6.71 ↘	6.69	10万人以上の市
6位 ↘ (13位)	沖縄県那覇市 n=109	6.69 ↘	6.60	30万人以上の市
7位 ↘ (16位)	神奈川県海老名市 n=205	6.68 ↘	6.55	10万人以上の市
8位 ↘ (11位)	千葉県浦安市 n=189	6.66 ↘	6.67	10万人以上の市
8位 ↘ (24位)	神奈川県藤沢市 n=164	6.66 ↘	6.38	30万人以上の市
10位 ↗ (2位)	北海道北広島市 n=151	6.61 ↗	6.98	5万人以上の市
ランキング対象「市」平均 n=79,188		5.77 ↗	5.82	

■幸せ指数 市ランキング

順位 前年順位	市名 サンプル数	幸せ指数		市規模
		2024年	2023年	
1位 ↘ (4位)	茨城県守谷市 n=154	7.04 ↘	6.71	5万人以上の市
2位 ↘ (171位)	沖縄県糸満市 n=79	6.89 ↘	6.22	5万人以上の市
3位 ↘ (39位)	鹿児島県始良市 n=97	6.85 ↘	6.48	5万人以上の市
4位 ↘ (272位)	宮城県富谷市 n=136	6.80 ↘	6.10	5万人以上の市
5位 ↘ (29位)	奈良県葛城市 n=86	6.76 ↘	6.53	5万人未満の市
6位 ↗ (1位)	沖縄県那覇市 n=109	6.74 ↗	6.87	30万人以上の市
7位 ↘ (266位)	新潟県見附市 n=87	6.71 ↘	6.11	5万人未満の市
8位 ↘ (201位)	広島県呉市 n=130	6.70 ↘	6.18	10万人以上の市
9位 ↗ (6位)	宮崎県日南市 n=71	6.66 ↗	6.69	5万人以上の市
10位 ↘ (73位)	神奈川県逗子市 n=112	6.64 ↘	6.37	5万人以上の市
ランキング対象「市」平均 n=79,188		6.02 ↗	6.11	

■元気指数 町村ランキング

順位 前年順位	町村名 サンプル数	地域元気指数		町村規模
		2024年	2023年	
1位 ↘ (4位)	沖縄県北谷町 n=28	7.47 ↘	7.04	町村
2位 ↘ (3位)	熊本県菊陽町 n=71	7.31 ↘	7.16	町村
3位 ↘ (6位)	福岡県新宮町 n=66	6.86 ↘	6.85	町村
4位 ↘ (5位)	群馬県吉岡町 n=40	6.80 ↘	6.87	町村
5位 ↗ (1位)	山梨県昭和町 n=32	6.70 ↗	7.31	町村
6位 ↘ (42位)	長野県南箕輪村 n=21	6.63 ↘	6.08	町村
7位 ← (7位)	静岡県長泉町 n=86	6.59 ←	6.79	町村
8位 ↘ (42位)	神奈川県葉山町 n=34	6.55 ↘	6.08	町村
9位 ↘ (28位)	沖縄県南風原町 n=38	6.54 ↘	6.34	町村
10位 ↗ (2位)	長野県軽井沢町 n=22	6.53 ↗	7.25	町村
ランキング対象「町村」平均 n=9,503		5.59 ↗	5.60	

■幸せ指数 町村ランキング

順位 前年順位	町村名 サンプル数	幸せ指数		町村規模
		2024年	2023年	
1位 ↘ (113位)	福島県矢吹町 n=20	7.70 ↘	6.04	町村
2位 ↘ (35位)	北海道白老町 n=24	7.50 ↘	6.52	町村
3位 -	北海道八雲町 n=26	7.44 -	-	町村
4位 ↘ (67位)	長野県南箕輪村 n=21	7.26 ↘	6.28	町村
5位 ↘ (26位)	沖縄県北中城村 n=28	6.98 ↘	6.60	町村
6位 ↘ (29位)	群馬県吉岡町 n=40	6.90 ↘	6.59	町村
7位 -	京都府京丹波町 n=20	6.89 -	-	町村
8位 ↘ (20位)	兵庫県福崎町 n=24	6.88 ↘	6.66	町村
9位 -	沖縄県中城村 n=30	6.84 -	-	町村
10位 ↘ (69位)	福岡県新宮町 n=66	6.82 ↘	6.27	町村
ランキング対象「町村」平均 n=9,503		6.05 ↗	6.07	

※ランキング対象市町村の基準

- 市：サンプル数が50件以上かつ人口3万人以上
- 町村：サンプル数が20件以上かつ人口1万人以上
- ※東京特別区部は、一体でカウント
- ※人口規模は、令和2年国勢調査時点での人口で分類

■ランキング対象市町村数(2024年10月1日時点)

- 市：600(全市の75.6%)
- 町村：221(全町村の23.9%)
- 計：821市町村



～地域元気指数調査とは～

地域元気指数

「地域元気指数(地域元気度)」は、全国の男女約10万人を対象に、現在自分が暮らす地域がどのくらい元気かを1～10点で採点してもらい、その平均値を自治体ごとに算出した独自の指数です。

「幸せ指数(幸せ度)」は、同調査において、自分がいまでのくらい幸せかを1～10点で自己評価してもらい、その平均値を自治体ごとに算出した独自の指数です。

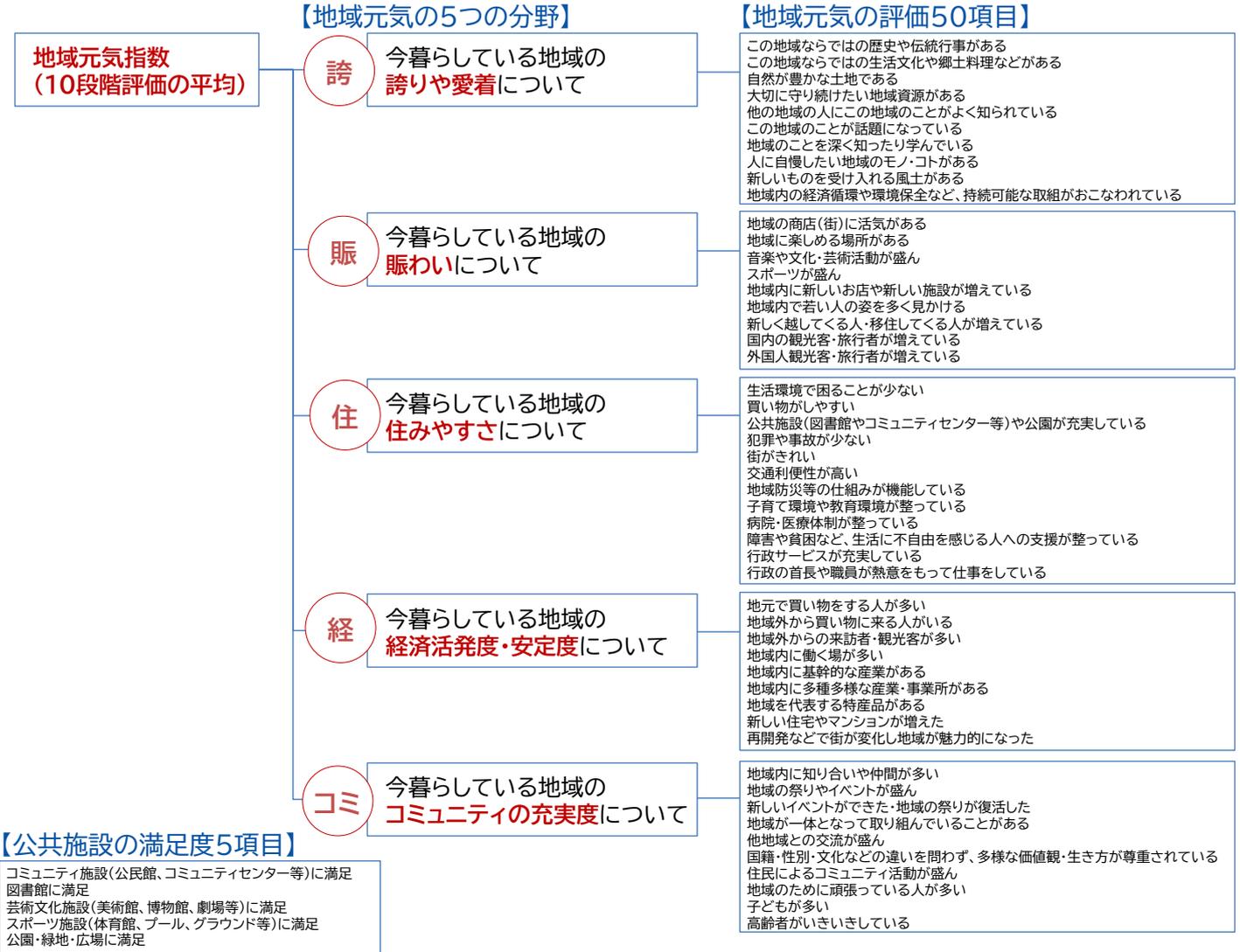
住民自身による評価を「見える化」し、全国における位置や経年変化を把握することのできるユニークな基礎調査として、学術研究分野や国・地方公共団体の施策立案などで活用されています。

調査概要

- 【調査方法】 インターネットによる調査(マクロミルモニター)
【調査対象】 全国20～69歳の男女 【調査時期】 2024年8月2日～8月22日
【サンプル数】 1次調査 100,000人
【集計方法】 令和2年国勢調査に基づき、全国の市区町村人口規模別30区分×男女×年代3区分=180区分の人口構成に従ってウェイトバック集計を行った。

「地域元気指数」の構成要素

「地域元気指数(地域元気度)」は、現在自分が暮らす地域がどのくらい元気を1～10点で採点してもらい、その平均値を自治体ごとに算出した独自の指数です。また、郷土愛や経済、住民交流など5分野全50項目にわたる設問「地域元気の評価要素」を通じ、地域元気度の源を探る手がかりを提供しています。



株式会社アール・ピー・アイ

アール・ピー・アイは「地域づくり」を中心とした、リサーチ&マーケティング・コンサルティング・事業プロデュース・運営サポートを行う会社です。

私たちは、地域を元気にし、より多くの人々が幸福な生活をおくることのできる地域社会の実現を目指します。

